

## 令和5年度 JAC セミナー

### ● テーマ「認定：国際貿易の未来を支える ～認定活用事例の紹介～」

日本認定機関協議会（JAC）では、広報活動の一環として、JAC セミナーを開催いたします。

・ JAC メンバーの加盟している国際認定フォーラム(IAF)と国際試験所認定協力機構(ILAC)は、「認定」の重要性を、より多くの方々に知ってもらう取り組みとして6月9日を「世界認定推進の日」(World Accreditation Day)と定め、毎年様々な認定に関わる社会的テーマに沿った広報活動を展開しています。今年のテーマは“認定：国際貿易の未来を支える”（Accreditation: Supporting the Future of Global Trade）です。

本年度のセミナープログラムもこれに沿った、「認定：国際貿易の未来を支える ～認定活用事例の紹介～」をテーマに、ご紹介いたします。

皆様のご参加をお待ちしています。

- セミナープログラム：(本頁下よりご覧ください)
- 日 時： 令和5年 **10** 月 **17** 日 (火) 13:00～16:55
- 会 場： イイノホール・カンファレンスセンター ※後日オンデマンド配信予定
- 定 員： 180名 ※**参加費無料**
- お申込み：[申込みページ（JAB30周年プラットフォーム 特設ウェブサイト内）](#)

※今年度のJACセミナーはJAB30周年プラットフォームの一環として開催いたします。

- 主 催： 日本認定機関協議会 (JAC\*1)  
\*1 詳しくは、最終頁「JACとは」をご覧ください。
- お問合せ先： 公益財団法人日本適合性認定協会 JAB30周年プラットフォーム事務局  
E-mail: [jab30th\\_info@event-office.jp](mailto:jab30th_info@event-office.jp)

## セミナープログラム

13:00～13:20	来賓挨拶	経済産業省 産業技術環境局 基準認証政策課 課長 渡辺真幸 様 (イイノホールにて)
13:30～14:05 (35分) 【講演1】	講演者： 演 題： 概 要：	一般財団法人食品安全マネジメント協会 理事長 大羽 哲郎 様 食品安全の民間認証スキームにおける国際的信頼性の基盤 ISO 22000から始まった食品安全認証は、GFSIがベンチマークした民間認証スキームへと進化し事実上の国際標準となっています。GFSIが求める国際的信頼性の基盤も、認証プログラムオーナー（CPO）と認定機関（AB）が連携するインテグリティプログラムであり、GFSIがCPOの同等性をベンチマークで担保し、IAFが認定活動の同等性を担保する仕組みです。食品安全の民間認証スキームの国際的信頼性に関し、GFSIに承認されたCPOとしてその基盤について説明します。
14:05～14:10	質疑応答	



<p>14:10～14:45 (35分) 【講演2】</p>	<p>講演者：</p>	<p>一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター 試験事業部 事業部長 峯松 育弥 様</p>	
	<p>演 題：</p>	<p>KEC関西電子工業振興センターの活動における認定活用事例のご紹介</p>	
	<p>概 要：</p>	<p>私ども一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センターは、当時の通商産業省（現 経済産業省）と大阪府のご支援のもと、初代会長 松下幸之助（松下電器産業 現 パナソニック）と主要メーカ 24 社が発起人となり 1961 年に設立し、以来、電子業界発展への貢献、技術者の育成と技術の向上に取り組んでいます。KEC の事業の一端を担う試験事業部では、ISO/IEC 17025 の試験所認定をコアに試験事業を展開しており、その活動内容を紹介いたします。</p>	
<p>14:45～14:50</p>	<p>質疑応答</p>		
<p>14:50～15:25 (35分) 【講演3】</p>	<p>講演者：</p>	<p>公益財団法人日本環境協会 エコマーク事業部長 藤崎 隆志 様</p>	
	<p>演 題：</p>	<p>タイプ I 環境ラベル エコマークの現況と新たな展開</p>	
	<p>概 要：</p>	<p>エコマークは、ライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた製品等につけられる国内唯一のタイプ I 環境ラベル（ISO 14024）です。 本講演では事業の現況、EC（電子商取引）とのデータ連携をはじめとする環境ラベルの新たな可能性、海外のタイプ I 環境ラベルとの相互認証等について紹介いたします。</p>	
<p>15:25～15:30</p>	<p>質疑応答</p>		
<p>15:30～16:05 (35分) 【講演4】</p>	<p>講演者：</p>	<p>日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）幹事 JIPDEC ISMS専門部会 主査 株式会社アズジェント シニアフェロー 駒瀬 彰彦 様</p>	
	<p>演 題：</p>	<p>デジタル貿易と国際規格に基づく情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認定された認証</p>	
	<p>概 要：</p>	<p>デジタル貿易において、国境を越えるデータ移転は不可欠であると同時に取引の双方で適切な情報セキュリティ対策を行うことが要求されます。情報セキュリティの要として、効果的に情報セキュリティを実現するための情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を取り上げ、国際的な相互承認に基づく認定された認証の役割とその重要性に焦点を当て説明します。</p>	
<p>16:05～16:10</p>	<p>質疑応答</p>		
<p>16:10～16:45 (35分) 【講演5】</p>	<p>講演者：</p>	<p>一般社団法人日本農林規格認証アライアンス 代表理事 丸山 豊 様</p>	
	<p>演 題：</p>	<p>オーガニック食品の各国の認証制度と政府間の同等合意について</p>	
	<p>概 要：</p>	<p>オーガニック食品の輸出入は、各国の認証制度や、二国間で制度の同等合意がされているかどうかにより国ごとに対応が異なります。日本の場合の、品目別の輸出入の制度について説明します。</p>	
<p>16:45～16:50</p>	<p>質疑応答</p>		
<p>16:50～16:55</p>	<p>閉会挨拶 公益財団法人日本適合性認定協会 執行理事・企画管理部長 澤田 彰</p>		

\* 上記プログラムの講演題目・内容は変更することがあります。予めご了承ください。

## 日本認定機関協議会(JAC)とは

日本認定機関協議会(Japan Accreditation Council: JAC)は、我が国全体として、認定機関の信頼性と技術レベルの向上を図るとともに、日本の適合性評価制度全体の信頼性・透明性の向上に寄与することを目的に、認定制度の啓発・普及活動のために必要な活動を行っています。現在は以下の5機関で構成されています。



株式会社電磁環境試験所認定センター  
(VLAC)

<https://www.vlac.co.jp/>



独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター  
(IAJapan)

<https://www.nite.go.jp/iajapan/>



公益財団法人日本適合性認定協会  
(JAB)

<https://www.jab.or.jp/>



一般社団法人情報マネジメントシステム  
認定センター (ISMS-AC)

<https://isms.jp/>



独立行政法人農林水産消費安全技術センター  
認定センター (FAMIC/JASaff)

<http://www.famic.go.jp/jasaff/>